

障がい者サッカーにおける指導者活用推進施策の質的検討

A qualitative analysis of promotion policy for the development of disability football utilising coaching system

桐蔭横浜大学大学院 スポーツ科学研究科

近藤 沙耶

指導教員：日比野暢子

概要

本研究は、障がい者サッカーの普及・強化のために、障がい者サッカーの指導者養成にJSPO, JFA, JPSAの指導者養成制度を上手く活用し、障がい者サッカー選手の参加目的や競技性の高低、障がい特性や競技特性に応じた指導者養成システムをどのように構築すべきかを検討することを目的とした。そこで研究Ⅰでは、JIFFが発足し、サッカー界で障がい者サッカーに関わる指導者の養成が必要との政策課題を認識するに至った政策過程を明らかにするために、JFA指導普及部グラスルーツ推進グループグループ長兼JIFFの専務理事に聞き取り調査を実施した。それにより、「JFAが障がい者サッカーの推進に至った背景には、日本のスポーツ政策が大きく影響していたこと」、「障がい者サッカーの課題を解決するために指導者がキーマンであること」、「障がい者サッカーの各競技団体に特化した指導者養成プログラムの必要性」が示された。

研究Ⅱでは、研究Ⅰの結果を踏まえ、JIFFと7つの障がい者サッカー団体が「各競技の特性に応じた指導者養成システムを構築していくために、JSPO, JFA, JPSAの指導者制度をどのように活用すべきと考えているのか」、7つの障がい者サッカー団体の指導者養成の実態も含め、明らかにすることを目的とした。そこで、7つの障がい者サッカー団体において指導者養成事業のキーアクターとなるもの、それに準ずる役職者または、各競技団体から推薦を受けたもの7名とJIFF専務理事1名の計8名に質的研究の半構造化インタビュー法を実施した。研究Ⅰと研究Ⅱの結果から特に以下に示す3つの論点が重要であると考えられる。

第一に、障がい特性、競技特性の違いからJIFFとして7つの障がい者サッカー団体で等しく指導者養成制度を活用していくことに限界がみられたことから、7つの障がい者サッカーそれぞれが障がい特性、競技特性に応じた養成システムを確立していくべきとの論点である。障がい特性、競技特性に応じた養成システムを確立していくことは、障がい者サッカー団体が活動するうえで支障として挙げる「競技専門のスタッフの不足」の解決の一助となるだろう。

第二に、JFAや7つの障がい者サッカー団体の養成プログラムを受講した指導者が様々な形態のインクルーシブフットボールを認知・理解し、活用していくとの論点である。同じレベルや年齢ごとに健常者とのインクルーシブフットボールを推進していけば、7つの障がい者サッカー全ての選手の発育・発達段階に応じた場の創設に繋がるだろう。

第三に、JFA, JPSA, JIFF, 7つの障がい者サッカー団体の団体間で積極的に連携をとることで、障がい者サッカー選手の参加目的や競技性の高低、障がい特性、競技特性に応じたより良い指導者養成システムを構築していけるとの論点である。研究Ⅱから、JFAが既に7つの障がい者サッカーの特性に応じたプログラムを考案中であることが分かった。障がい者サッカーの指導者養成にJPSAの制度を活用することは、JPSAの課題である「資格の有用性」、障がい者サッカーの課題である「場の不足」、「指導者の不足」、「認知の不足」の両者の課題を解決する一助となるのではないかと。そのためにも、まずは積極的に連携をとり、情報の共有をすることが重要だろう。

キーワード:障がい者サッカー、指導者養成、インクルージョン、障がい特性、競技特性

Abstract: This study aims to discuss how the coaching systems organized by JSPO, JFA and JPSA should be utilized for the disability football in order to develop disability football, referring to the aim of the participation, the level of competitive abilities, the nature of disability and the characteristics of football. To achieve the aim of the study, this study has two steps that the study 1 and 2. The study 1 explored the policy making process to recognize the importance of coaching system by conducting an interview with the JFA's coaching grassroots department top of grassroots promotion group and JIFF's managing director. It revealed that the creation of the coaching system is the urgent matter to